

# 一般質問通告書

平成29年 5月30日

午前 8時32分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成29年 5月30日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 島田 正次



質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	浜名湖のアサリ等の資源保護、漁業支援について	
2	いじめと不登校の状況と対策について	
3	こどもへの虐待の状況と対応について	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	浜名湖のアサリ等の資源保護、漁業支援について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>近年、浜名湖の漁業の状況は、塩分濃度の上昇や、潮流の変化等による外洋からの魚種の流入等で環境が変化し、昔から生息していたアサリやクルマエビなどが減少している。アオサの大量発生、黒鯛などの食害などともいわれていますが、潮干狩りは休止が続き、アサリの漁獲量も減少し、漁業者にとっては死活問題となっている。</p> <p>特に浜名湖の大きな魅力でもあるアサリの減少は、漁業者だけではなく、地域の地場産業や観光の振興においても、大きな問題であるため、官民一体となった対策が必要と思われる。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市として、アサリ等の資源保護、漁業への支援についての考えを質問する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アサリ漁等の漁獲量の減少について、どのように考えているのか。</li> <li>2. 漁業への支援はどのようなものを考えているのか。</li> <li>3. アサリ等資源保護の対策について、国・県等との連携をどのように考えているのか。</li> </ol>	

番号	主 題
2	いじめと不登校の状況と対策について。
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>長い歴史を通して形成されてきた、家庭や社会の基本的な秩序が軽視され、地域に根づいてきた人間形成が解体してきている。個性豊かな人間の育成を願い、個人の人権を尊重する民主主義に乗って学校教育がなされてきました。しかしながら全国では悲惨ないじめや不登校の実態が報道されている。</p> <p>このような実態について、教育長の考えを伺いたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>いじめや不登校の実態を把握し、子どもたちにいじめを許さない、不登校にならないような意識を育てるため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 湖西市内の小・中学校でのいじめ、不登校の実態を伺いたい。</li> <li>2. 市はいじめ対策として、どのようなことを行っているのか。</li> <li>3. いじめと不登校の因果関係について把握しているのか。またその対策はどのように行っているのか。</li> </ol>	

番号	主 題
3	こどもへの虐待の状況と対応について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>増加の一途をたどる児童虐待。虐待を受けた疑いがあるとして、全国の警察が平成28年に児童相談所に通告した件数は54,227人であり、通告には至らなかったが、児童相談所に情報を提供した件数は16,141人で増加傾向にある。(静岡県警まとめ 前年の1.7倍497件)</p> <p>(質問の目的)</p> <p>虐待の根絶と重大事件を防止するため</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 湖西市内の小・中学生が虐待を受けている実態を伺いたい。また対策はどのように行っているのか。</li> <li>2. 不登校と虐待の因果関係について把握しているのか。またその対策はどのように行っているのか。</li> <li>3. 幼児・未就学児への虐待や育児放棄の実態を伺いたい。</li> <li>4. 幼児・未就学児の対策はどのように行っているのか。</li> </ol>	



# 一 般 質 問 通 告 書

平成29年 5月 30日

前

午9時22分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成29年5月30日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員

橋 浩幸 (印)

質問方式 (○を付ける)	
	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ <input type="radio"/> 一括の質問答弁 ・ <input type="radio"/> 一括と一問一答
番号	主 題
1	特別な支援が必要な子どもへの対応について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	特別な支援が必要な子どもへの対応について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>全国の公立小中学校で「特別な支援」を必要とする児童と生徒が、初めて9万人を超えたという文部科学省の調査結果が報じられた。その割合は、全体の6.5%で、1クラスに2~3人が在籍する。発達障がいや精神障がいを持つお子さんに対する治療・療育に対し、全国的にも初診までの待機時間が6ヶ月待ち、再診の予約も取りにくい状況であると聞く。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市の状況を確認し、対応を求める。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 湖西市内小中学校における「特別な支援」を必要とする児童生徒の状況と、キャパシティは充足しているか。また、課題は何か。</li> <li>2. 課題に対し、教育委員会としてどのような対応を行って来たか。また、今後の対応はどのように考えているか。</li> <li>3. 湖西市内の発達障がい、精神障がいに対する診療機関はどのような状況か。</li> <li>4. 湖西市として、とりわけ福祉部門として「特別な支援」を必要とする児童生徒の現状をどのように捉えているのか。また、今後の対応はどうか。</li> <li>5. 発達段階に応じて医師、臨床心理士など専門家の招聘も踏まえ教育委員会と福祉部門との課題の共有と連携が必要と考えるが、どちらかの部署においてイニシアティブをとり、課題解決を進める用意はあるか。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書



29年 5月30日

前  
午9時50分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

29年 5月30日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員竹内 祐子



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答
番号	主 題
1	市民の健康について
2	
3	
4	
5	

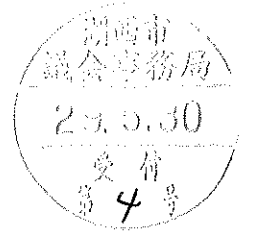
※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市民の健康について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>日本では昔から「旬のものを食べると体にいい。」「腹八分目が体にいい」と伝えられてきた。今は飽食の時代で食生活が変化してきている。生活習慣病という食と関わりのある成人病も増加。誰もがいつまでも元気で健康で暮らしたいと願う。</p> <p>平成28年度に「健康こさい21」と「食育推進計画」が策定されたので市民への食育と健康について伺う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>自分の健康は自分で守れる市民育成のため</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分の健康を守るためには健診（検診）が重要だと考える。誰もが一年に一度は健診（検診）を受けて早期発見、早期治療に努めてほしいが、啓発はどのように行っているか伺う。</li> <li>2. 生活習慣病予防についてはどのような取り組みをしているか伺う。</li> <li>3. 20代・30代の若い世代に食育や健康（体・心）に関心を持たせるための方策を伺う。</li> <li>4. 高齢者が要介護にならないための食事指導についての方策を伺う。</li> <li>5. 健康マイレージ事業（健康長寿日本一）の普及啓発状況について、もっとたくさんの人に取り組んでもらうための方策を伺う。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること



# 一 般 質 問 通 告 書



平成 29 年 5 月 30 日

前  
午 5 時 13 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 29 年 5 月 30 日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 神谷里枝



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	市長の目指す「まちづくり」について
2	障害者福祉施策について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市長の目指す「まちづくり」について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

影山市長誕生後、早半年が過ぎました。所信表明で述べられた「若者にも高齢者にも暮らしやすいまちづくり・未来に輝く湖西市」構築に向け、市長としての職務に力量を発揮され精力的に活動されていることは職員を始め、市民の皆様にも十分伝わっているのではないのでしょうか。本当に全力投球で取り組まれており、湖西に新しい風が吹いていることは間違いございません。市民の期待は強い追い風になっていますが、政策推進は逆に強い向かい風ばかりです。

次世代を担う若者や子育て世代の新しい発想を取り入れるため、今年1月に市議会の広報広聴特別委員会では高校生との意見交換会を開催し、29年度も開催の予定です。参加された高校生が、やがて地域のリーダーに育ってくれることを期待致します。

市長が目指す「まちづくり」について、考え方を伺います。

(質問の目的)

「若者にも高齢者にも暮らしやすいまちづくり・未来に輝く湖西市」構築に向け、市民参加と協働、対話は必要不可欠であると考えますが市長が目指す方向について伺います。

(質問事項)

1. 「若者の力を活かしたまちづくり」についての考えを伺います。  
若者の力を活かすまちづくりを推進する為に、市が率先して仕掛けづくりをしなければならぬと考えますが、市長のお考えは如何でしょうか。
2. まちづくりに必要な事業を進めるためには、財源確保は避けては通れない事は周知のとおりであります。  
以前から市単独事業である「子ども・子育て支援手当支給事業」は各議員から見直しについて指摘もありましたが、スタート当初から変更はされておられません。  
市民会館再建、こども園化改修事業など次々と多額の費用が予測される中、財務省時代の経験を活かし、今の財政状況をどのように分析し、今後に向けて財源確保を図ろうとしているのかお伺い致します。

番号	主 題
2	障害者福祉施策について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

市長ならびに浜名学園組合の管理者に就任されて半年が経過しましたが、「安全安心で誰もが住みよいまちづくり」に向け、この半年間あまり触れられていない「障害者施策について」、市長の考え方を伺います。

(質問の目的)

湖西市における障害者福祉の推進を図るため。

(質問事項)

1. 湖西市における障害者福祉の現状をどのように捉えられているのか、また今後の障害者福祉推進の方針を伺います。
2. 今年度「H30年から34年度までの第4次障害者計画・H30から31年度までの第5期障害福祉計画」の策定予算が計上されておりますが、「第3次障害者計画・第4期障害福祉計画」をどのように評価分析し、次の計画に反映させるのか、現時点での考え方を伺います。
3. 障害者に関する法律も頻繁に変わり、障害者本人には湖西市における障害者福祉サービスの現況が大変解り辛くなっています。そこで申請方法や手続きの仕方、制度等を掲載した「障害者のしおり」を作成し、障害者やその関係者などに配布し、活用して頂くことは効果的な取り組みだと考えるが、如何でしょうか。



# 一 般 質 問 通 告 書

平成29年5月31日

前  
午 10 時 10 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成29年5月31日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 高柳達弥



質問方式 (○を付ける)	
	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	子ども・子育て支援策（乳幼児）について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	子ども・子育て支援策（乳幼児）について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>子ども・子育て施策を推進するため本市では、平成 22 年策定の新・湖西市総合計画で「まちの姿 1、ひとが育つまち」、施策「豊かな人間性の基礎を築く（乳幼児）」、平成 27 年策定の湖西市教育大綱で「基本理念 明日の湖西を創る“ひと”づくり」、平成 27 年策定の湖西市子ども・子育て支援事業計画で「基本理念 みんなで育む 子どもと親の笑顔が輝くまち」としている。</p> <p>国では、平成 24 年に「子ども・子育て関連 3 法」が成立、平成 27 年には幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進める「子ども・子育て支援新制度」がスタートした。こうした、国の政策、市の施策に基づき子ども・子育て支援事業をこれまで推進して来ているが、さらに幼児期の学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための考えを伺う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>子ども・子育てに対する諸課題にどう取り組み実施しているか伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が目指す「子育て・教育への支援による、幸福度日本一のまち」の実現のため、子ども・子育て支援を質・量ともに充実させ家庭、学校、地域その他社会のすべての構成員が、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め皆で協働し、それぞれの役割を果たして、全ての子どもが健やかに成長できる社会・湖西を実現していくべきと考えるが、市の具体的な取り組みについて伺う。</li> <li>2. 子ども・子育て支援事業計画に基づく事業の実施状況の点検・評価について、湖西市子ども・子育て会議においてどのような審議がされその結果どのような対策を実施しているか伺う。</li> </ol>	

3. 教育施設地域拠点構想によると、すべての市立幼稚園と市立保育園を認定こども園へ統合していくとあるが、メリット、デメリットをどう捉えているか。また、子ども園の類型を幼保連携型、幼稚園型、保育所型など全園どういう類型で子ども園化するのかなど幼保の現場職員、幼児教育・児童福祉の専門家、障害児を持つ親の会代表、保護者の代表などによる検討会議等によって、子ども園制度の構築、基本構想のもと開園に向けた準備が必要と考えるが、どのような手順で進めるか伺う。
4. 子ども園化を進めるには、保育担当者と幼児教育担当者が保育所と幼稚園の枠を乗り越え、新たな子育て施策を包含する、新しい意識で幼保一元化、保育一元カリキュラムに取り組む必要があるが、このための対策と職員の処遇などについて、どの様に進めていくのか伺う。
5. 「子ども・子育て支援法」の施行及び全国的な待機児童対策等により保育士の不足が予測されているが、開園への支障、保育の実施が停滞しないよう保育士の確保はどうするか。また、看護師、栄養士などの確保も必要となるがどう対処するか。
6. 岡崎幼稚園、新居幼稚園の子ども園化の計画が教育委員会の重要課題として、協議されているが、福祉部門の子ども・子育て支援部署との調整はどのようにされているか。また、今までにこども園化の説明を行い保護者の理解が得られない事があったが、教育・保育を一体的に提供する子ども園について、保護者のみならず地域の人々にも理解・協力をいただければ開園は難しいと考えるが対応は検討されているか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること